韓国　リンゴとナシは出荷量が少ない見込み

FreshPlaza　2023年9月26日

秋夕（チュソク）の祭が木曜日から土曜日まで開催される

毎年秋になると、韓国人は2つの特定の果実、リンゴとナシの価格動向に特に注意を払う。これらの2つの果実は韓国の典型的な秋の果実であるが、人々が価格に特に敏感である理由は他にもある。

秋夕（チュソク）（旧暦の中秋節）の祭の昔ながらの伝統は、先祖を称えるために食べ物で一杯の食卓を準備することである。リンゴとナシはこの儀式用の食卓の定番である。また、これらの果実は秋夕の祝日の贈答品としても用いられる。

ただし、秋夕の日付は毎年異なり、9月下旬から10月上旬の間で太陰暦によって決まる*ため、課題が生じる。今年のリンゴの価格は昨年の同時期よりも約50％高く、祭の気分に少し水を差している。

情報筋は、9月のリンゴの卸売価格を前年比最大160.6％高い10kg当たり平均7万4千ウォン（55.72ドル）と予測している。今年のリンゴの総生産量は前年比で21％減少し、44万9千トンを下回ると見られている。

ナシもまた、4月の開花期に予想よりも低い気温に見舞われた。ナシの生産量は前年比20％減少し、20万トンを下回ると予測されている。秋夕シーズンの流通量は、前年比8％減の約4万4千トンと予測されている。

出典：asianews.network　　＊：今年は週末及び他の祝日と合わせて9月28日～10月3日の6連休

米国カリフォルニア州　柑橘類のアザミウマ被害

The Packer　2023年9月27日

業界団体によると、カリフォルニア州の柑橘類生産者は、前例のない降雨と果樹園でのアザミウマの爆発的発生により、今シーズン、重大な病虫害の問題に直面した。

ニュースリリースによると、カリフォルニア州柑橘類組合（CCM）の病害虫タスクフォースからの報告では、一部の生産者の園地で各区画の80％もの果実の表面に傷が生じており、これは主にネーブルに影響を及ぼしているが、マンダリン、レモン及びその他の柑橘類にも様々な程度の影響を与えている。

CCMのケイシー・クリーマー会長はリリースで、「柑橘類の生産者にとって非常に困難な害虫の季節であった。業界は、この前例のないアザミウマの発生を抑制するために最善を尽くした。生産者は対策のコストを負担すると同時に、害虫の影響が市場での収益の減少をもたらすという現実にも直面している」と述べている。

リリースによると、同協会のマーケティング委員会はネーブルの30％にアザミウマによる傷があり、出荷量はアザミウマのために前シーズンに比べて8％～15％少なくなると推定しており、またマンダリンとレモンの出荷量も前シーズンと比較して5％減少すると推定している。

アザミウマによる見た目の悪さは、果実の内部の品質、味、食感に影響しない。リリースは、消費者は、（傷を気にしなければ）カリフォルニア州産の柑橘類で日頃慣れ親しんでいるのと同じ素晴らしい食体験を期待でき、果実の量は十分にあるとしている。リリースはまた、外部の傷や損傷が最小限のファンシーフルーツは、今シーズンはプレミアム商品であるとしている。

クリーマー会長はリリースで、「これらの課題があるものの、当協会の生産者らは今シーズンの樹上の果実の品質について楽観的である。十分以上の降雨で貯水池は満杯であり、3年間の極端な干ばつ後、果樹園は活力を取り戻した」と述べている。

（2024年5月に「柑橘類組合」の表記を修正しました。）